

新百合ヶ丘駅周辺地区 まちづくり方針

新百合ヶ丘駅周辺の 『これまで』と『これから』の まちづくりにむけて

新百合ヶ丘駅周辺は、昭和49(1974)年の駅の開業を契機に土地区画整理事業が進み、川崎市総合計画において広域拠点に位置づけられ、官民連携でのまちづくりが進められてきました。

現在では、商業・業務・公共機能及び芸術・文化施設等が集積しており、公共空間を活用したイベントの開催など、地域の特徴を生かしたにぎわいと魅力あるまちづくりが進められています。

一方で、急激な人口増加による駅中心部における交通混雑の発生や、駅至近における低利用地等によるにぎわいの不足、土地区画整理事業時代に建設された建物の高経年化等、様々な課題が顕在化してきています。また、横浜市高速鉄道3号線延伸を見据え、都市機能の更なる集積や、交通結節機能の強化に向けた取組が求められています。

新百合ヶ丘駅周辺のより一層の魅力あふれるまちづくりに向けて、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性等を定め、地域の皆さんと共有するため、「**新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針**」を作成しました。(令和7(2025)年3月)

～ 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針の構成 ～

- I 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針策定の目的
- II 新百合ヶ丘駅周辺の現況
- III 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針
- IV 計画的なまちづくりの推進

⇒ 中面に抜粋して掲載しています。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市



出典：ふるさとの心が鼓動するまちづくり
(新百合ヶ丘駅周辺特定土地区画整理事業のおゆみ) より

1 まちの将来像について

地域の皆さんと、まちづくりにおいてめざしていく将来の姿を共有するため、「まちの将来像」として示しています。(本編 P17/概要版 P7)

交通

都市機能

新百合ヶ丘の魅力

- ・ 駅周辺の交通環境の改善
- ・ 交通結節機能の強化等

- ・ 多様な都市機能の拡充
- ・ にぎわいの創出

- ・ 芸術・文化、緑、地域活動の継承と進化

これらにより「多様な人々が集うまち」をめざします。

2 分野別の方針について

まちの将来像の実現に向け、分野別の方針を示しています。分野別の具体的な取組の方向性は本編をご覧ください。(本編 P18~P20/概要版 P8~P13)

土地利用

市北部の広域拠点にふさわしい都市機能の充実

環境

緑あふれる潤いある都市環境の整備

交通

誰もが歩きやすく移動しやすい交通環境の整備

防災

災害時における都市の防災性の向上

3 まちづくりの方針図について

まちの将来像に掲げる「多様な人々が集うまち」の実現に向けて、まちの骨格となる「にぎわい核」、「交通核」、「都市軸」の方針と概ねのエリアを方針図として示しています。(本編 P21/概要版 P14)

まちづくり方針図

にぎわい核の強化

- ・ 駅中心部の高度利用と
- ・ 民間活力を活かした都市機能の充実を図ります。

交通核の再編

- ・ 駅南北の交通機能の適正な役割分担・整備を図ります。

都市軸の充実

- ・ 駅南北間の連携や中心部から後背地への連携の充実を図ります。

鉄道新規ネットワーク

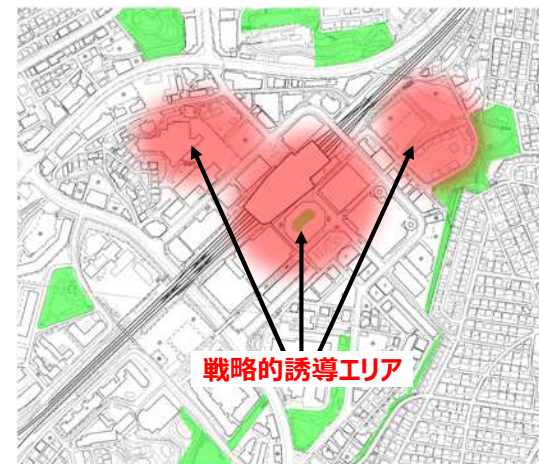
- ・ 広域的な交通利便性の向上等に向けて、横浜市高速鉄道3号線の整備を進めます。

- ・ 南北のにぎわい核を結び、まち全体のにぎわいを創出します。
- ・ 官民連携による駅中心部の緑の連続性の創出により、駅周辺の緑のネットワークの強化を図ります。

まちづくりを計画的に進めるために、戦略的誘導エリアの指定や、機動的な公共施設の検討を行います。

1 戦略的誘導エリアの指定について (本編 P23/概要版 P15)

- ・ 「にぎわい核」の強化等に向けて、まちづくりを牽引する土地利用の誘導を図るべきエリアを『戦略的誘導エリア』として指定します。
- ・ 戦略的誘導エリアの指定にあたっては、駅至近のエリアのうち、公共施設の敷地に隣接する「高度利用されていない大規模な土地」、「大規模な商業施設等の敷地」を指定します。
- ・ 駅北側の戦略的誘導エリアについては、交通環境の改善に向けて早急な対応が必要なことから、先行的に検討します。



2 機動的な公共施設の検討について (本編 P24/概要版 P16)

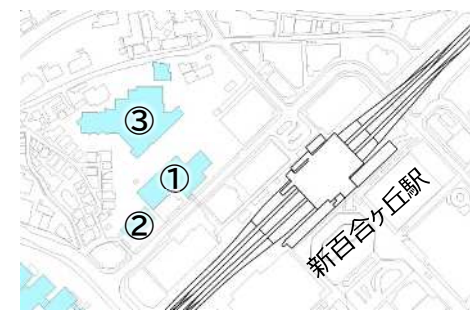
駅北側の戦略的誘導エリアでは、駅周辺の一体的かつ効果的なまちづくりに向け、土地利用転換の機会を適切に捉えて、区役所等の公共施設も含めた検討を以下のとおり行います。

○ 公共施設のあり方に関する幅広い検討

- ・ 駅北側の公共施設について、戦略的誘導エリアを中心とした土地利用の検討において、区役所等の高経年化の状況や資産マネジメントの取組等を踏まえながら、公共施設の建替えの可能性も含めて幅広く検討し、令和7(2025)年度に今後の取組の基本的な方向性を示す「基本的な考え方」の策定をめざします。

○ 市民意見の把握

- ・ まちづくり及び公共施設の検討にあたっては、市民意見をきめ細やかに把握するため、様々な機会を捉え、多角的に市民等の意見を伺いながら検討を進めます。



番号	公共施設	供用開始
①	麻生区役所	1982年
②	麻生消防署	1985年
③	麻生市民館・図書館	1985年

専用ページ
(川崎市HP)



新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針の
本編・概要版はこちらでご覧いただけます。